

全一般愛知地本

＝発行＝

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部＝煤本國治
住所：名古屋市中区
田区沢下町9-3
労働会館本館405

全労連事務局長の談話

国民の不安を取り除き、要求実現が可能な政治の実現を

～第50回衆議院選挙の結果を受けて～

10月31日に私たちが加盟する全国労働組合総連合(全労連)の黒澤事務局長から、先の衆議院選挙結果に対する談話が発表されましたので掲載します。

10月15日公示・27日投票で行われた第50回衆議院選挙は、自民党・公明党の議席数が過半数を下回る結果となった。自公の過半数割れは、民主党が政権交代した2009年以来である。反社会的団体である旧統一協会との癒着や党ぐるみの「裏金疑惑」など、不正と金権腐敗にまみれた自民党とそれを補完してきた公明党への労働者・国民の怒りの審判が下された結果である。

また、戦争法の強行に見られるように政策への異論や国民の声を聞かず、国会内における数の力を頼みに憲法の数々を推進してきたことや、「安保三文書」の閣議決定など国会と議院制民主主義を軽視してきたこと、また国政を私物化してきたことなどに對し、国民の「自民党政治を終わらせたい」との願いが多数となったことの現れである。

全労連は、選挙を「自民党政治を終わらせ、要求実現可能な政治に変えるチャンス」として、単産・地方組織で奮闘した。自民党政治に代わる政治が実現可能な情勢となったことを、大いに歓迎するものである。

この間、自公政権はアメリカと財界いなり政治を進め、国際情勢ではアジア諸国などとの間で軍事的緊張を

2025 全国一般・愛知地本旗開き

場所：労働会館本館
4階会議室
日時：2025年1月10日
(金) 18:30～20:00



前夜2024年1月19日旗開き風景

2024年度の愛知地本旗開きは上記の日程で開催します。新たな年の始まりにあたり、交流と決意の場とします。今年こそ日本アクリル支部争議を解決し、愛知地本に結集する仲間の団結を強化し、愛知地本の組織拡大に向けてみんなで頑張りましょう！！



→2024年6月1日署名隊メーデー(自民公明)
↓2024年4月20日地本共催会主催のイチョウ祭り

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部
〒456-0006 名古屋市中区沢下町9-3 労働会館本館405 TEL052-883-6977 FAX883-6977

高め、国内では経済の停滞と国民生活破壊をもたらしてきた。

対中国・北朝鮮を念頭にした極東地域における軍事パトナーとして、アメリカと共に行動する「戦争国家」づくりを進めている。軍事費には湯水のよりに予算をつぎこみ、その財源を捻出するため、国民に大増税と社会保障の全面改悪を押し付けようとしている。

労働者には30年間にわたる賃金抑制と、非正規雇用の拡大など低賃金で企業に都合のよい働かせ方を押し付けてきた。一方で2023年度の大企業の内留保は53兆円と、第一次安倍政権発足時の2012年度から205兆円積み増しされ過去最高となった。アベノミクスにより法人税は減税され、その代わりに消費税が10%にまで増税され、さらにインボイス制度が導入された。

憲法9条をまもろう 2024愛知県民のつどい

11月3日(日)に、「愛知九条の会」主催の集会在名古屋市公会堂でありました。特別講演では「日本を戦争する国にはしない」という演目で元文部科学事務次官の前川喜平さんが行いました(下記が講演の写真です)。

憲法九条はアメリカから押し付けられたものではなく時の総理大臣幣原喜重郎が提案したもの。この九条のお陰で戦後79年間戦争に巻き込まれなかった。昨今の戦争の脅威を煽り、軍産複合体を構築しようとしているのは極めて危険なこと、だと具体例を挙げながら分かりやすく講演をされました。あつという間に時間超過する熱気あるものでした。(記 U)



1月1日の地震に続いて深刻な豪雨被害を被った能登半島被災地は放置され、長引く物価高騰、この夏起きた深刻な

米不足などへの対応も、自公政権は何ら有効な手立てを打つとしない。このような政治は、もう終わらせなければならぬ。

全労連は、労働者・国民の不安を取り除き、信頼に応えうる政治を野党各党に求め、その実現をめざして全力を挙げるものである。

以上

今後の予定

- 12月3日(火)単一労働組合協議会定期大会
- 12月5日(木)全労連「秋の争議支援総行動(アクリル支部参加)」
- 12月14・15日(土)全国一般中央「春闘討論集会」
- 12月27日(金)地本執行委員会